

令和7年度第1回 宗像市市民文化・芸術活動審議会議事録

※発言者が特定されないよう配慮した記載としています

1. 市民協働部長あいさつ、委嘱状交付

部長：宗像市では、市民一人ひとりが文化芸術に親しみ、地域の中で多様な文化活動が継続的に展開されることを目指し、これまでさまざまな施策に取り組んできた。宗像ユリックスをはじめ、市内各地で開催される演奏会や展示会、伝統文化の継承活動などを通じて、市民の熱意と創意により、地域の文化は大きく育まれてきた。本審議会は、そうした本市の文化芸術活動の現状をふまえ、将来にわたって持続可能な文化施策の方向性を検討し、文化芸術によるまちづくりを推進していくことを目的として設置された。審議委員には、専門的な見識と経験をもとに、幅広い意見を述べ、審議を実りあるものとするよう求めた。また、市としても、審議会での意見を真摯に受け止め、今後の施策の立案・実施に生かしていく方針を示した。最後に、本審議会が、市民と行政の協働による文化芸術の発展に資する有意義な場となるよう、委員の積極的な協力を求める。

(委嘱状交付)

2. 事務局紹介

事務局：事務局3名について紹介した。

3. 審議委員の方々の自己紹介

審議委員：審議委員5名の名前と所属や活動内容などを話した。

4. 宗像市市民文化・芸術活動審議会について

・宗像市市民文化・芸術活動審議会とは

事務局：本審議会は、宗像市附属機関設置条例に基づき設置されたものであり、文化芸術振興条例に関する事項や、市民文化および芸術活動の振興施策について審議する役割を担う。審議会は、市民文化・芸術活動審議会規則により 15 人以内で構成されることとなっており、今回は 5 名の委員を委嘱した。委員は、知識・経験を有する者、文化団体の代表、市民代表などから教育委員会が任命し、任期は 2 年間である。

・令和 7 年度 スケジュール

令和 7 年度は、今回を含めてあと 2 回程度の審議会開催を予定している。本市の文化芸術振興は、総合計画およびアクションプランに基づいて進めており、これらは昨年度の審議会で策定されたものである。今後の審議会では、アクションプランの進捗確認や、本日審査する文化芸術活動事業補助金の今後の方向性について、委員から意見を受けながら進めていく予定である。

5. 会長の選任について

事務局：委員からの立候補を求めたがなかったため、推薦を募った。

審議委員 A：宗像市文化協会会長の古本氏を推薦した。古本氏は長年にわたり文化活動に携わり、各団体との連携も深く、全体をまとめる力がある。文化協会の会長としての調整実績も豊富であり、審議会の会長として適任と説明した。

古本氏より、会長就任の意向が示された。異議なく承認され、古本氏を会長に決定した。

事務局：副会長は会長を補佐し、必要に応じて職務を代行する。立候補者がいなかったため推薦を募った。

審議委員 B：福岡教育大学の篠原氏を副会長として推薦。篠原氏は専門的視点を持ち、大学と地域の連携に期待できると説明した。推薦された篠原氏に受諾の意向を確認した。

6. 就任承諾書、支払金口座振込依頼書のご記入

7. 令和6年度宗像市文化芸活動事業補助金報告について

●「響きあうアート宗像」／響きあうアート宗像実行委員会

事務局：令和5年度から継続して3回目の申請である。第1回芸術祭を令和5年度に開催し、令和6年度は映像・パネル展示や図録で振り返り、アート体験や仮面・衣装づくりのワークショップを実施した。

●親子de楽しもう0歳からの音楽会 Vol.3たいそうのおねえさんといっしょ／打楽器トリオ「マスケ」

事務局：令和5年度から継続して3回目の申請である。0歳から参加可能な打楽器アンサンブルのコンサートを開催し、親子で楽しめる音楽プログラムを行った。

●上方落語 福岡県人隊 落語会／宗像落語に親しむ会

事務局：令和6年度から継続して2回目の申請である。福岡にゆかりのある噺家8名を招いた落語会を開催し、幅広い世代に楽しんでいただいた。

●徳永玲子とVisionsの「絵本と音の玉手箱～宗像のたび」／Visions

事務局：令和6年度から継続して2回目の申請である。宗像の三姫伝説やみあれ祭りを題材にした絵本をステージ化し、世代を超えた地域の歴史文化の理解促進に貢献した。

事務局：今年度も上記4団体から継続して申請を受けている。

8. 審議事項

(1) 令和7年度宗像市文化芸活動事業補助金交付事業の審査について

① 審査方法について

事務局：審査票、補助金の按分について説明

② 補助金審査

●コミュニティ・アート Vol.2 in 宗像／Visions

審議委員 B：宗像に関する絵本があると望ましい。

審議委員 D：宗像市の魅力は海だけでなく、人や山、文化など多面的であり、それらを盛り込むとよい。内容から見て補助金額がやや高く感じられた。

審議委員 E：絵本の選定は難しいが、異なる文化的価値観を持つ外国の絵本は意義があり、さらに参加しやすくなる工夫があるとよい。

審議委員 A：前回の事業内容を動画にまとめ、今回との違いを明確に示すとよりよい。

●第2回 上方落語福岡県人隊 落語会 in 宗像／宗像落語に親しむ会

審議委員 B：スケジュールを明確にする必要がある。

審議委員 D：実体験に基づいた話と分かりやすいプレゼンにより、活動内容がよく理解できた。今後は広報を積極的に行い、地域や学校にも広めてほしい。学校やコミュニティセンターでの需要も見込まれる。

審議委員 A：広報開始から実施までの期間が短く感じられる。8月と10月の事業内容を明確に示す必要がある。

審議委員 E：企画自体は非常に興味深く、日本の伝統文化を広める意義は大きい。今後の実施に向けて、具体的な計画をしっかりと示してほしい。

●0歳からの音楽会 Vol.4 and マスケウィズコンサート vol.1／打楽器トリオ「マスケ」

審議委員 D：動画を用いたプレゼンで説明が分かりやすかった。さまざまな企画に取り組んでおり、将来性のある団体と感じた。

審議委員 E：幅広い年齢の子どもが楽しめるイベントになるとより良い。今後も企画の幅を広げて活動されることを期待する。

審議委員 A：今後は子どもだけでなく、子育て家庭へのアプローチもあるとよい。

●「響きあうアート宗像」／響きあうアート宗像実行委員会

審査委員 B：宗像市内では、みあれ芸術祭や宗像美術協会の活動をはじめ、さまざまなアートイベントが増加しており、今後は他のイベントとの連携も期待される。また、作家の選定にあたっては、第三者による審査体制が望ましいのではないかと。

審議委員 D：宗像を大切に思う気持ちが強く伝わってきた。アートの分野が多岐にわたり、今後さまざまな展開が期待できると感じた。

審議委員 E：宗像は観光地としての認知が高まりつつあるため、その流れと連動し、芸術の発信にもつなげられるとよい。

審議委員 A：補助金を活用してどのような展開を目指すのか、もう少し具体的に示されるとよい。

③ 集計、講評

審議委員 A・B・C・D・E：4 団体すべて補助金対象として適切である。補助金の按分率については、審査により得られた平均点の順位に応じて交付額を決定することに異議なし。